

平成 23 年度 学校法人 昭和大学 決算概要

平成 23 年度学校法人昭和大学の決算は、平成 24 年 5 月 15 日の臨時理事会で承認後、同月 25 日の評議員会に報告されました。平成 23 年度の主な事業として、薬学部及び看護専門学校の教育施設としての講義棟建設、学内情報基盤環境の整備、富士吉田キャンパスの教育環境整備、看護専門学校のマルチメディア教育システムの整備、臨床薬理センター開設、歯科病院に隣接する土地・建物の取得を行いました。また、各附属病院の教育及び環境整備として、大学病院では、総合診療部による一次二時救急受入体制の整備、藤が丘病院では救急医療に係る施設を 3 階フロアに集約するための改修工事を 2 か年計画で進めております。横浜市北部病院では西棟産科病棟（マタニティハウス）をオープンしました。決算の概要は次の通りです。

一. 貸借対照表について

平成 24 年 3 月 31 日現在の財産状況を示します。固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の資産の部合計は 1, 9 2 0 億 6 2 0 万円で、前年度末と比べて 6 6 億 3, 8 6 0 万円の増です。主な要因は、土地 7 億 7, 8 6 0 万円の増、建設仮勘定が 6 8 億 5, 1 1 0 万円の増、教育用ソフトウェアが 9, 5 0 0 万円の増、退職給与引当特定資産が 2 億円の増、富士吉田校舎教育施設整備引当特定資産が 1 億 7, 8 3 0 万円の増、現金預金が 6 9 億 1, 5 7 0 万円の増となっております。また、既存の建物・機器備品等の減価償却額 6 6 億 9, 7 3 0 万円が前年度簿価より減少しています。一方、固定負債(長期借入金・学校債他)と流動負債(次年度借入金返済金・未払金他)の負債の部合計は 5 7 4 億 5, 1 7 0 万円で、前年度末と比べて 9 9 0 万円増加しました。長期借入金は 1 2 億 3, 4 0 0 万円、学校債は 2 億 5 0 0 万円、前受金は 3 億 1, 4 7 0 万円減少しておりますが、退職給与引当金は 4 億 6, 3 5 0 万円、短期の借入金は 3 億 6, 5 9 0 万円、未払金は 9 億 8 3 0 万円増加しております。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は 1, 3 4 5 億 5, 4 4 0 万円で、前年度より 6 6 億 2, 8 7 0 万円増加しました。

二. 消費収支について

消費収入の部合計は 9 0 9 億 9, 2 0 0 万円で、基本金組入額 4 9 億 5, 1 1 0 万円を除く帰属収入合計は 9 5 9 億 4, 3 1 0 万円となります。予算と比べて学生生徒納付金、手数料収入、補助金収入、事業収入、雑収入が増、寄付金収入、資産運用収入は減でした。全体として 2 8 億 7, 0 7 0 万円予算より増となっております。一方、消費支出は 8 9 3 億 1, 4 4 0 万円で、予算と比べて、人件費、借入金等利息が増、教育研究経費、管理経費が減で、支出全体で 2 億 3, 8 7 0 万円予算より増となります。また、帰属収支差額では、6 6 億 2, 8 7 0 万円の収入超過となりました。前年度は 3 3 億 8, 5 0 0 万円の収入超過でしたので、前年度よりも 3 2 億 4, 3 7 0 万円の増益となります。結果的に消費収入から消費支出を引いた消費収支差額は、1 6 億 7, 7 6 0 万円の収入超過となります。

三. 資金収支について

資金収支は、法人の諸活動に対応する全ての収入支出の内容を示します。当年度の資金収入は 1, 0 1 6 億 3, 4 9 0 万円、資金支出は 9 4 7 億 1, 9 2 0 万円で、当年度の資金収支差額は 6 9 億 1, 5 7 0 万円の収入超過でした。収入においては、予算と比べて、学生生徒納付金収入は 2 億 3, 2 7 0 万円の増、手数料収入は 2, 8 6 0 万円の増、医療収入は 8, 5 7 0 万円の減、寄付金収入は 5, 6 5 0 万円の減、補助金収入は 2 5 億 8, 7 0 0 万円の増、雑収入は 1 億 7, 3 3 0 万円の増となっております。支出は、人件費が 7 億 9, 4 3 0 万円の増、教育研究経費が 7 億 9, 6 3 0 万円の減、管理経費が 4, 2 6 0 万円の減でした。また、その他の経費として土地、建物等の施設関係支出、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出、および資産運用支出があります。